

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年10月7日

【会社名】 株式会社アジェット

【英訳名】 AGET Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 早間 央

【本店の所在の場所】 東京都港区西新橋二丁目7番4号
(平成27年3月23日から、本店所在地を東京都港区西新橋一丁目1番15号から上記のとおり移転しております。)

【電話番号】 03(4577)8701 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 丹藤 昌彦

【最寄りの連絡場所】 東京都港区西新橋二丁目7番4号

【電話番号】 03(4577)8701

【事務連絡者氏名】 執行役員 丹藤 昌彦

【届出の対象とした募集有価証券の種類】 株式及び新株予約権証券

【届出の対象とした募集金額】 その他の者に対する割当
株式 200,007,600円
第9回新株予約権証券 23,155,242円
新株予約権の発行価額の総額に新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の合計額を合算した金額
2,123,281,842円

(注) 新株予約権の権利行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した新株予約権を消却した場合には、新株予約権の発行価額の総額に新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の合計額を合算した金額は減少します。

【安定操作に関する事項】 該当事項はありません。

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

当社は、レッド社の協力のもとで新たに取り組む予定の複数のフード事業の管理等を図りやすくするため、当社ではなく、新たに設立する子会社（商号：株式会社マグノリアベーカリー・ジャパン、代表者：カトリーナ・ビニャスカ、本店所在地：東京都港区）において、マグノリアベーカリーのスイーツ事業を運営することにいたしました。これに伴い、当社は、平成27年10月7日、レッド社との間で同年9月7日に締結した資本業務提携契約の変更契約を締結し、レッド社の業務提携の相手方を、当社又は当社の子会社とすることとしております。また、マグノリアベーカリー事業の新規出店費用に関する支出時期が当初想定より早まることとなりましたので、第9回新株予約権の資金使途及び支出予定時期を変更が生じております。これらに伴い、当社は、平成27年9月7日に提出した有価証券届出書並びにこれに関して同月25日に提出した有価証券届出書の訂正届出書に関し、提出内容の一部に訂正すべき事項が発生いたしましたので、これを訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 募集要項

5 新規発行による手取金の使途

(2) 手取金の使途

本新株予約権

6 大規模な第三者割当の必要性

(1) 大規模な第三者割当を行うこととした理由及び当該大規模な第三者割当による既存株主への影響についての取締役会の判断

(c) 資本業務提携の内容

(2) 業務提携の内容

3【訂正箇所】

訂正箇所は下線で示しております。

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

5【新規発行による手取金の使途】

(2)【手取金の使途】

(訂正前)

本新株予約権

具体的な使途	金額	支出予定時期
マグノリアベーカリーの出店費用等（注）1、4、5	300,768,000円	平成28年1月～平成28年7月
Kyochon出店費用等（注）2、4、5	1,349,000,000円	平成28年1月～平成29年10月
当社グループ運転資金等（注）3、4、5	449,413,842円	平成28年1月～平成29年10月
合計	2,099,181,842円	

(注)1. 上記のマグノリアベーカリーの出店費用等は、2店舗の内装、設備工事費、保証金、厨房機器等、その他（開業準備金等）の費用が含まれております。

なお、2店舗目の出店時期は、平成28年4月を予定しており、平成28年4月から9月までの売上高は128百万円を想定しております。

また、3店舗目の出店時期は、平成28年6月を予定しており、平成28年6月から平成28年9月までの売上高は115百万円を想定しております。

2. 上記のKyochonの出店費用等は、ライセンス費用、店舗内装費、保証金、厨房機器等、その他（開業準備金等）の費用が含まれております。なお、当社は、Kyochonブランドのサブフランチャイジーとして、19店舗の店舗出店を検討しております。

なお、現時点における出店計画は、平成28年9月期1店舗、売上高9百万円、平成29年9月期14店舗、平成30年9月期4店舗を予定しており、1店舗あたりの年間平均売上高は181百万円を想定しております。

3. 上記の当社グループ運転資金等は、マグノリアベーカリー及びKyochonの事業を開始するための宣伝広告費、弁護士・会計士費用、エージェント費用及び新たに採用する予定の人件費等であります。

4. 調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理致します。

5. 新株予約権の発行及び行使により資金調達を行うこととしておりますが、当社が想定するとおりに本新株予約権の行使が行われなかった場合、フード事業に関する事業に当初計画から遅れが生じる可能性があります。その際は資金使途の内容及び支出予定時期の見直しを図るとともに、他の資金調達方法を検討いたします。また、現在検討しているフード事業が現在の計画どおりの売上高や利益計上ができなかった場合に、事業計画の見直しを行い、資金使途を変更する可能性があります。その際には速やかにその旨を開示いたします。

(訂正後)

本新株予約権

具体的な使途	金額	支出予定時期
マグノリアベーカリーの出店費用等(注)1、4、5	240,063,000円	平成28年1月～平成28年7月
Kyochon出店費用等(注)2、4、5	1,349,000,000円	平成28年1月～平成29年10月
当社グループ運転資金等(注)3、4、5	449,413,842円	平成28年1月～平成29年10月
当社グループ運転資金等(注)4、5、6	60,705,000円	平成28年1月～平成28年9月
合計	2,099,181,842円	

注)1. 上記のマグノリアベーカリーの出店費用等は、2店舗の内装、設備工事費、保証金、厨房機器等、その他(開業準備金等)の費用が含まれております。当社は、平成27年10月7日、レッド社との間で、本資本業務提携契約の変更契約を締結し、マグノリアベーカリーのスイーツ事業を、当社ではなく、平成27年10月下旬に新たに設立する予定の当社子会社(商号:株式会社マグノリアベーカリー・ジャパン。代表者:カトリーナ・ピニャスカ。本店所在地:東京都港区)において運営することとしたため、当該子会社が、かかる出店費用等を支出することとなります。そのため、当社は、本新株予約権の発行及び行使により調達した資金を当該子会社に対し拠出します。

なお、2店舗目の出店時期は、平成28年4月を予定しており、平成28年4月から9月までの売上高は128百万円を予定しております。

なお、3店舗目の出店時期は、平成28年6月を予定しており、平成28年6月から平成28年9月までの売上高は115百万円を想定しております。

2. 上記のKyochonの出店費用等は、ライセンス費用、店舗内装費、保証金、厨房機器等、その他(開業準備金等)の費用が含まれております。なお、当社は、Kyochonブランドのサブフランチャイジーとして、19店舗の店舗出店を検討しております。

なお、現時点における出店計画は、平成28年9月期は1店舗の出店(売上高は9百万円を想定)、平成29年9月期は14店舗の出店、平成30年9月期は4店舗の出店を予定しております。

また、1店舗あたりの年間平均売上高は181百万円を想定しております。

3. 上記の当社グループ運転資金等は、マグノリアベーカリー及びKyochonの事業を開始するための宣伝広告費、弁護士・監査費用等、エージェント費用及び新たに採用する予定の店舗に係る人件費等であります。注1のとおり、マグノリアベーカリーのスイーツ事業を、新たに設立する子会社(株式会社マグノリアベーカリー・ジャパン)において運営し、同社が、これに係る広告宣伝費を支出するため、当社は、本新株予約権の発行及び行使により調達した資金を当該子会社に対し拠出します。

4. 当社は調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理致します。なお、注1のとおり、マグノリアベーカリーのスイーツ事業を、新たに設立する子会社(株式会社マグノリアベーカリー・ジャパン)において運営し、同社が、これに係る出店費用、広告宣伝費等を支出するため、当社は、本新株予約権の発行及び行使により調達した資金を当該子会社に対し拠出します。

5. 新株予約権の発行及び行使により資金調達を行うこととしておりますが、当社が想定するとおりに本新株予約権の行使が行われなかった場合、フード事業に関する事業に当初計画から遅れが生じる可能性があります。その際は資金使途の内容及び支出予定時期の見直しを図るとともに、他の資金調達方法を検討いたします。また、現在検討しているフード事業が現在の計画どおりの売上高や利益計上ができなかった場合に、事業計画の見直しを行い、資金使途を変更する可能性があります。その際には速やかにその旨を開示いたします。

6. 上記の当社グループ運転資金は、平成27年9月1日付「第7回新株予約権に関する資金使途及び支出予定時期の決定に関するお知らせ」で開示しておりました第7回新株予約権の資金使途であった当社運転資金と同様の使途となります。具体的には、マグノリアベーカリー及びKyochonの事業に係る内部の管理関係の人員増及び事業運営するうえで必要となる監査費用等、家賃、事務所移転費用等、約8ヵ月の当社運転資金であります。なお、第7回新株予約権の資金使途及び支出予定時期にも一部変更が生じており、変更内容の詳細は以下のとおりです。

(変更前)

具体的な使途	金額(円)	支出予定時期
当社運転資金	106,638,993	平成27年10月～平成28年9月

注) 当社運転資金は、マグノリアベーカリー及びKyochonの事業に係る内部の管理関係の人員増及び事業運営するうえで必要となる監査費用等、家賃、事務所移転費用等、約1年間の当社運転資金であります。

(変更後)

具体的な使途	金額(円)	支出予定時期
当社運転資金	45,933,993	平成27年10月～平成28年1月
マグノリアベーカリー出店費用等	60,705,000	平成27年10月～平成27年11月上旬
合計	106,638,993	-

注) 1. 当社運転資金は、上記「2. 変更理由」に記載の新規のフード事業に係る内部の管理関係の人員増及び事業運営するうえで必要となる監査費用等、家賃、事務所移転費用等、約4ヵ月の当社運転資金であります。

2. マグノリアベーカリーの出店費用等は、2店舗の敷金の一部37,699,000円、同じく2店舗の工事に係る費用22,006,000円、人材採用に伴う費用等1,000,000円であります。

6【大規模な第三者割当の必要性】

(1) 大規模な第三者割当を行うこととした理由及び当該大規模な第三者割当による既存株主への影響についての取締役会の判断

(c) 資本業務提携の内容

(2) 業務提携の内容

(訂正前)

(1) 業務提携の内容

当社は、本日付で、レッド社との間で、本資本業務提携契約を締結し、大要以下に掲げる事項について業務提携を図っていくこととしておりますが、その詳細については、今後、両社間で協議、決定してまいります。

レッド社グループにおいて店舗展開を実施しているマグノリアベーカリーのスイーツ事業について、レッド社子会社である株式会社スイートスターとの間において、当社をサブフランチャイジーとするライセンス契約の締結及びこれに基づく権利金、ロイヤリティの支払い。

(後略)

(訂正後)

(2) 業務提携の内容

当社は、本日付で、レッド社との間で、本資本業務提携契約を締結し、大要以下に掲げる事項について業務提携を図っていくこととしておりますが、その詳細については、今後、両社間で協議、決定してまいります。

レッド社グループにおいて店舗展開を実施しているマグノリアベーカリーのスイーツ事業について、レッド社子会社である株式会社スイートスターと、新設予定の当社100%子会社である株式会社マグノリアベーカリー・ジャパンとの間において、株式会社マグノリアベーカリー・ジャパンをサブフランチャイジーとするライセンス契約の締結及びこれに基づく権利金、ロイヤリティの支払い(当社は、レッド社の協力のもとで新たに取り組む予定の複数のフード事業の管理等を図りやすくするため、当社ではなく、新たに設立する子会社(株式会社マグノリアベーカリー・ジャパン)において、マグノリアベーカリーのスイーツ事業を運営することにいたしました。これに伴い、当社は、平成27年10月7日、レッド社との間で同年9月7日に締結した資本業務提携契約の変更契約を締結し、レッド社の業務提携の相手方を、当社又は当社の子会社とすることとしております。)。

(後略)